

令和2年2月3日

白嶺小学校保護者の皆様

白山市立白嶺小学校
校長 水野 泰夫

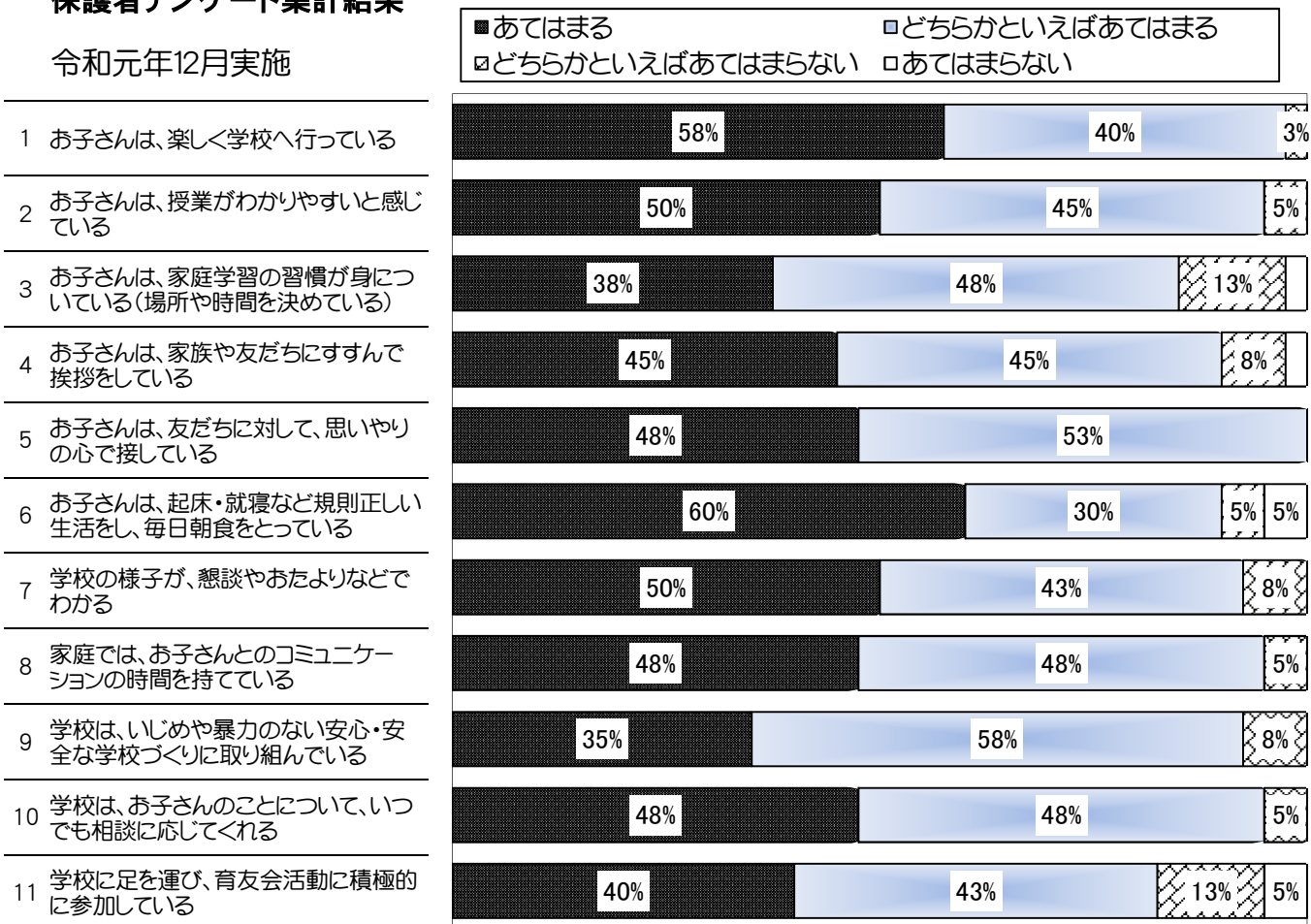
令和元年度後期アンケートの結果について（報告）

向春の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なるご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、12月に実施した学校評価アンケートの集計が完了しましたのでお知らせいたします。アンケート結果から、反省が必要な分野、7月のアンケートとの比較も含めて確認することができました。この結果を踏まえ、学期末まで改善に努め、新年度に入りましてもよりよい学校づくりに向けて教職員一同、一層努力していきたいと考えております。

保護者アンケート集計結果

令和元年12月実施



全ての項目で高評価を得られましたが、前期評価と比較しますと、項目3を除いて「あてはまる」と評価した割合が減少しました。特に項目1, 9, 11は10ポイント以上の減少になり、昨年度と比較しても減少しています。再度、実態を丁寧に把握し、一つ一つの項目についてよりよい具体策を講じながら全職員で取り組んでまいります。

項目3について「あてはまる」評価は、昨年度から向上しているところで、後期も微増です。しかし、「あてはまらない」という評価も変わらずありますので、今後も児童の実態と合わせながら指導の継続を行ってまいります。

児童アンケート集計結果

小学校 2019年12月実施

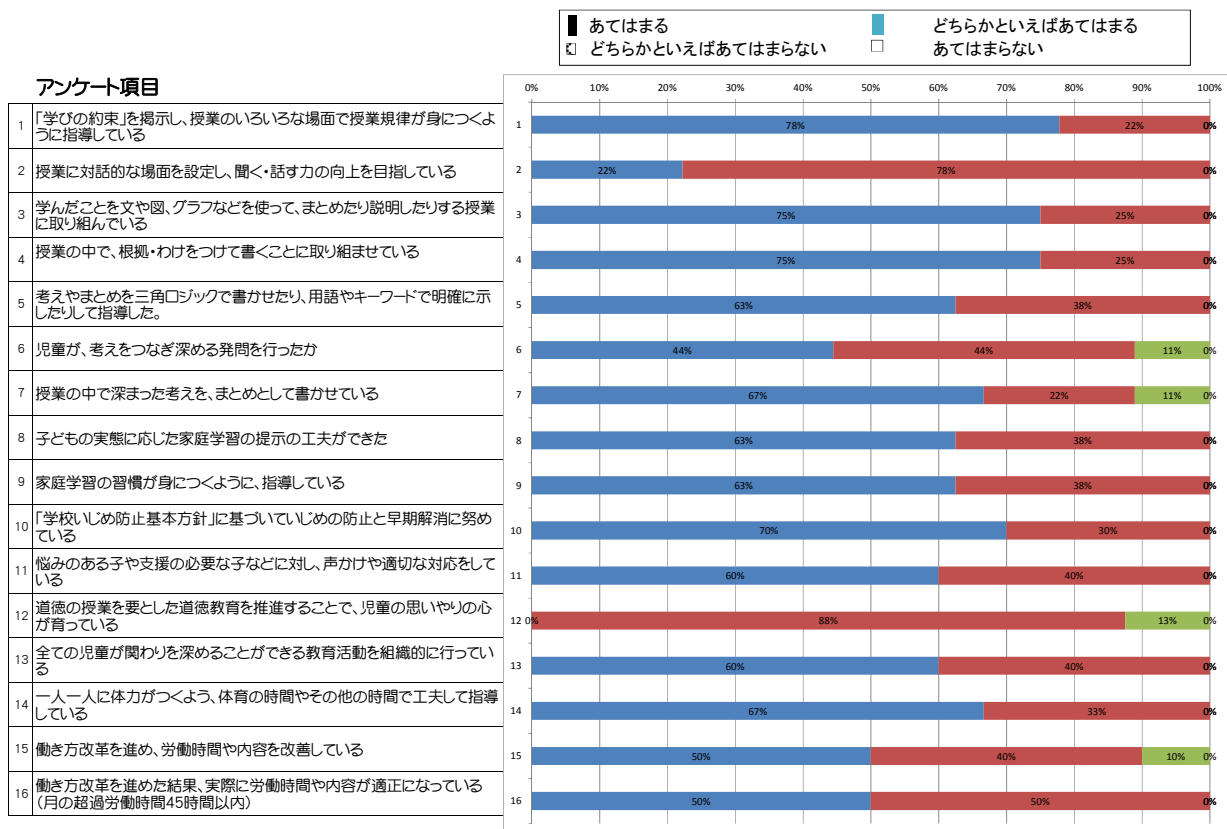


全項目で良好な結果でした。前期からの伸びで捉えると、項目2, 3, 7, 8, 10, 12で改善されたことが分かります。2学期、指導されたことや、校内研究と絡めて重点に置いた部分の伸びだと思われまふ。しかし、項目6, 11で「どちらかといえばあてはまる」を選択する割合が増えています。今後気をつけて指導していきます。また、否定的な評価にチェックをつけている児童に対して自己肯定感を高める取組や個に応じた指導は今後も継続していく必要があると考へます。

昨年同時期と比べて、大きく改善されたのは、項目5, 8, 10です。項目5は研究の重点目標となっています。また、項目8や10も学校全体で共通に指導を行った結果、改善されたと考えられます。反面、項目4, 6の結果に伸びがなかったため、学びのゴールを明確に示しながら、有効な手だての検証と指導の充実に努めていきます。

教職員アンケート集計結果

小学校 2019年12月実施



主に授業の様子などにかかわる項目1～7について、授業規律やみんなの前で説明したり、わけをつけて話したりする場面を設けることで力をつけてきていると感じていますが(項目1, 3, 4, 5, 7は向上)、児童同士が対話をする中で、考えが深まるような話し合い、聞き合いの力や考えをつなぐ発問ができていないと感じていることが分かりました。(項目2, 6は評価が下がる)

家庭学習(項目8, 9)に関しては、教員は成果が出ていると感じているものの、保護者や児童の結果からは向上した実感が得られなかったため、今後も継続して取り組むとともに、その内容の工夫も行っていきます。

項目10～13は、前期より評価が下がる結果となりました。これまでの取組をさらに徹底し、よりよい姿を目指していこうとする意識の表れであると捉えています。具体的内容の提示と合わせて今後も丁寧に取組を継続していきます。

項目14～16は数値に変化はありませんでしたが、なわとび活動やスキー・体育などを通して、体力向上のための取り組みをさらに充実させるよう意識していきます。働き方改革は、留守番電話の設置などに保護者の皆様のご理解をいただき、向上傾向にあります。より一層の改革に向けて関係機関とも連携して取り組んでいきます。